

第1号様式（第1条の5関係）

【記入例】

(1) 圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始（~~廃止~~）届出書

<p>(2) 平成〇〇年〇〇月〇〇日</p> <p>(3) 七尾鹿島消防本部消防長 殿</p> <p>(4) 届出者 住所 石川県〇〇市〇〇町〇〇番地 (電話〇〇—〇〇〇〇番) 氏名 消防太郎 印</p>				
事業所の所在地及び名称	所在地	(5) 石川県〇〇市〇〇町〇〇番地		
	名称	(6) 〇〇〇クリーニング店		
貯蔵し、又は取扱う倉庫、施設等の名称	貯蔵し、又は取扱う倉庫、施設等の構造等の概要	貯蔵し、又は取扱う物質の名称	最大貯蔵数量又は最大取扱数量 (kg)	消火施設の概要
(7) プロパン庫	(8) 鋼板製	(9) LP ガス	(10) 50kg × 8本 総量 400kg	(11) ABC粉末消火器 10型 1本
物質に対する処理剤の種類及び保有量	種類	保有量	対象物質	
	(12)	(13)	(14)	
貯蔵又は取扱開始（廃止）予定年月日	(15) 平成〇〇年〇〇月〇〇日			
緊急時の連絡先	昼間	(16) 〇〇〇〇〇株式会社 (電話〇〇—〇〇〇〇)		
	夜間・休日	(17) 〇〇〇〇〇株式会社 (電話〇〇—〇〇〇〇)		
その他必要な事項	(18) 新設による新規取扱い			
※ 受付欄			※ 経過欄	

- 備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 法人にあつては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 「処理剤」とは消石灰等の化学処理剤及び乾燥砂等の吸着剤をいう。
- 4 ※印の欄は、記入しないこと。
- 5 貯蔵又は取扱いを開始しようとするときは、倉庫、施設等の位置及び倉庫、施設内における物質の貯蔵又は取扱場所を示す見取図を添付すること。

圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始（廃止）届出書の記入要領

項目	記入要領
(1) 届出種別	届出区分に応じ不要な方を抹消線で抹消してください。
(2) 年月日	届出日を記入してください。和暦での記入をお願いします。 (例) 平成〇〇年〇〇月〇〇日
(3) 宛先	宛先は消防長となります。下記のどちらでも構いません。 「七尾鹿島消防本部消防長 殿」 「七尾鹿島消防本部 消防長 〇〇〇〇殿」
(4) 届出者	貯蔵又は取扱いをしようとする者の住所、氏名、電話番号を記入して押印してください。 法人にあっては法人の所在地、名称、電話番号及び代表者の職、氏名を記入して押印してください。 住所や所在地については都道府県からの記入をお願いします。
(5) 所在地	貯蔵又は取扱う防火対象物の所在地を記入してください。 所在地については都道府県からの記入をお願いします。
(6) 名称	貯蔵又は取扱う防火対象物の名称を記入する。 略称は使用しないでください。 (例) 「株式会社〇〇〇〇 〇〇〇工場」「〇〇〇銀行 〇〇〇支店」
(7) 貯蔵し、又は取扱う倉庫、施設等の名称	貯蔵又は取扱う施設の名称を記入してください。
(8) 貯蔵し、又は取扱う倉庫、施設等の構造等の概要	貯蔵又は取扱う施設の構造を記入してください。 S, RC, SRCなどの略語は使用しないでください。 (例) 「鉄筋コンクリート造」「鉄骨鉄筋コンクリート造」
(9) 貯蔵し、又は取扱う物質の名称	貯蔵又は取扱う物質名を記入してください。
(10) 最大貯蔵数量又は最大取扱数量 (kg)	最大貯蔵数量又は最大取扱量を記入してください。
(11) 消火施設の概要	設置する消防用設備等の種類を記入してください。 (例) ABC粉末消火器 10型 1本
(12) 種類	貯蔵又は取扱う物質に対する処理剤の種類を記入してください。 (例) 消石灰の化学処理剤、乾燥剤の吸着剤等
(13) 保有量	貯蔵又は取扱う物質に対する処理剤の保有量を記入してください。
(14) 対象物質	対象となる物質名を記入してください。
(15) 貯蔵又は取扱いの開始予定期日又は期間	貯蔵又は取扱いの開始予定期日又は期間を記入してください。 和暦での記入をお願いします。(例) 平成〇〇年〇〇月〇〇日
(16) 緊急連絡先 昼間	昼間における緊急時の連絡先及び電話番号を記入してください。
(17) 緊急連絡先 夜間・休日	夜間・休日における緊急時の連絡先及び電話番号を記入してください。
その他注意事項	正副の2通を届出してください。 変更の場合は消防用設備等の数量に増減が発生しないか確認してください。